

RI第2820地区

水海道ロータリークラブ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



2021-22年度 シェカール・メータ RI会長

例会予定 12月15日 休会
12月22日 会員卓話 廣井 信会員

VOL.59 No. 8 (通算No. 2655)

2021年12月8日(水) 例会プログラム
点 鐘
君が代・ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
外部卓話 常総青年会議所理事長 新岡 彰様



写真提供:河合恒芳会員

2021-2022年度 会長 倉持 功典

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3階
毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

幹事 鈴木 茂徳

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3階
Tel 0297-30-0875 Fax 0297-30-0876
Email mitsu-rc@lapis.plala.or.jp
URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

12月は疾病予防と治療月間

例会報告 VOL.59 No. 7 (No.2654) 11月24日(水)晴れ (司会 齋藤政博委員長)

本例会での主な事項

◎会長あいさつ

◎米山奨学生卓話

王 昌さん

ビジター

米山奨学生 王 昌さん

誕生祝



《会員》田上秀雄会員



幹事報告 鈴木茂徳幹事

週 報 なし

例会変更 なし

理事役員会報告

1. 1月の例会予定
1月5日(水) 新年例会並びに新年会
1月19日(水) 通常例会
2. 2022－2023年度地区委員の推薦について
石井康弘会員・瀬戸隆海会員
3. 出席免除について
松坂興一会員・小島富雄会員

……承認されました……

＊12月8日(水)11時より理事役員会が開催されます。

諸報告

社会奉仕委員会 石塚克己委員長

赤い羽根共同募金活動にご協力お願い致します。

12月は疾病予防と治療月間

会長挨拶 倉持功典会長



皆さん、こんにちは。

11月2回目の例会となります。

米山奨学生の方 昌さん、私たちのクラブにお出でくださいましてありがとうございます。会員一同歓迎申し上げます。後ほど卓話をお願いいたします。

20日(土)に常総運動公園で、つくばみらい市谷和原カップサッカー大会が開催されました。開会式に出席していただいた会員の皆さんお疲れさまでした。昨年は中止になってしまいましたが、今年度は天気もよく無事に開催できました。

また昨日は、職業奉仕セミナーが開催され、青木職業奉仕委員長さんに参加していただきました。お疲れ様です。

さて、今月は財団月間です。1917年米国ジョージア州アトランタでのロータリー年次大会で、アーチ・クランプ会長が「世界でよいことをする」ために現在のロータリー財団の種となる基金の設置を提案しました。以降1世紀にわたり世界中のロータリー会員による奉仕活動を支え、奨学金を通じて若者を支援し、ポリオ撲滅を実現に近づけてきました。私たちのクラブでも、染谷正美財団委員長さんと、秋田米山記念奨学会委員長さんが、例会に出席できない会員を訪ねて回っていただきました。ほんとうにありがとうございます。地道な活動が、これからの100年に続いていくことと思います。

米山奨学生卓話 王 昌さん



水海道RC卓話 2021.11.24

議論の場での「不同意」における配慮表現の 日中対照研究 —予備調査の結果から—

筑波大学大学院 人文社会科学部
国際日本研究専攻 博士後期課程
王 昌

1.研究動機

(友人同士AとB 田舎の住みやすさについての会話)

A: 田舎はコンビニが少ないから、ちょっと不便だと思う。

反対を示す際の話し方

(1) B: その意見に反対です。

(2) B: 確かにそうだけど、田舎は自然豊かな環境が魅力的で、都会より住みやすいと思わない?

1.研究動機

日常会話において、われわれは相手の意見を否定したり、それと異なる内容を示したりする状況に直面しなければならない。

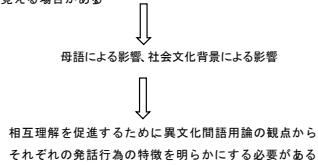
このような食い違いが生じる際に、「不同意」をうまく伝えられれば、相手に思わぬ印象を与えてしまい、人間関係に摩擦が起きることは十分考えられる。そのため、継続的な人間関係を維持する必要がある相手に対し、「不同意」を表明する際には、相手への配慮を示すことはかなり重要である。

12月は疾病予防と治療月間

1.研究動機

「不同意」に関するエピソード調査で見られた語彙(王、2018)

中国人日本語学習者:「母語話者のように前置き表現などを使えない」
日本語母語話者:「中国人日本語学習者のほうは表明の仕方が少し直接的で違和感を覚える場合がある」



2.先行研究

残された課題:

(1)方法論の面では、仮定の場面、制度的場面、ロールプレイでの会話、談話完成テストのデータが多数を占めており、自然会話や議論の場でのコミュニケーションを扱うものは比較的少ない。

(2)質的な考察による配慮表現の形式分類に重点が置かれ、言語表現の機能を中心に検討するものはまだ見当たらない。

4.研究方法

日本語使用場面:『BTSJ日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声2021年版)』
大学院|異性友人同士5組の一対一討論会話

表1: 日本語使用場面の個別会話情報

会話の通し番号/会話グループ番号/発言者番号	会話時間	話題
213-16-JF8025-JM026	00:19:17	美容整形に賛成か、反対か
241-16-JM8009-JF105	00:13:46	
225-16-JF8028-JM029	00:13:42	
245-16-JM8010-JF106	00:18:20	仕事は職場環境で選ぶか、給料で選ぶか
253-16-JM8012-JF108	00:16:05	

5.分析方法

手順(1)

「不同意」発話の構成要素のコーディング結果

		高
直接的方略	「不同意」の意図を直接的に伝えるストラテジー。 確的な否定、否定の理由など	明示性
間接的方略	「不同意」の意図をほかし、推論で間接的に伝えるストラテジー	
意見の保留	意見を一旦保留するストラテジー	
		低

手順(2)

明示性の度合いが最も高い【直接的方略】と共起する慣習化された配慮表現を抽出・分析

6.分析結果

「不同意」に見られる配慮表現の記述例:

日本語: 〜ではない(か)
形式分類: 文末表現(終助詞) 機能分類: 共感表現 原義: 共通認識の喚起
配慮機能: 自分の意見に対する共感を求める

用例:

JM029: 人、人は重要だと思う。

JF8028: 人なんかわかるわけねーじゃん(↑)。

2.先行研究

堀田・吉本(2013)、横(2015)、張(2017)など

中国語: モダリティ表現を付加せず、命題のみで断定的に「不同意」を示す発話が多い

日本語: 暗示、言いさしなどの曖昧な言い方を多用
相手の問題点を示すことによって、問題解決を慎重に進める

3.研究目的と研究課題

研究目的:

日中両言語の「不同意」に見られる配慮表現とその使用傾向を明らかにする

研究課題:

①議論の場での「不同意」において、日本語と中国語でどのような配慮表現が共起されるか。

②議論の場での「不同意」において、日中両言語の配慮表現の使用にどのような相違点・共通点が見られるか。

4.研究方法

中国語使用場面: 中国在住の中国語母語話者に依頼
大学院|異性友人同士5組の一対一討論会話

『BTSJ日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声2021年版)』に準じて、下記の話題に対する意見を伺い、お互いの意見が異なる一つの話題を指定し、一対一で5分前後に会話をしてもらった。

表2: 中国語使用場面の個別会話情報

会話の通し番号/会話グループ番号/発言者番号	会話時間	話題
001-01-CF001-CM001	00:13:01	美容整形に賛成か、反対か
002-01-CF002-CM003	00:15:12	
003-01-CF003-CM003	00:12:34	
004-01-CF004-CM004	00:14:57	仕事は職場環境で選ぶか、給料で選ぶか
005-01-CF005-CM005	00:14:21	

6.分析結果

①日本語の配慮表現:

言いさし文 〜かな(と思う)、〜気がする、〜かもしれない 〜ではない(か)、〜よね、〜だろう

②中国語の配慮表現:

你知道[nǐ zhī dào]、你想[nǐ xiǎng]、可能[ké néng]、感觉[gǎn jué]、
倒是[dào shì]、吧[bā]、明白吗[míng bái ma]、不太[bú tài]、
对吧/对不对[duì ba/duì bú duì]

6.分析結果

「不同意」に見られる配慮表現の記述例:

中国語: 不太[bú tài]
形式分類: 副詞 機能分類: 緩和表現 原義: 部分否定
配慮機能: 意見を否定する際に口調を和らげる

用例:

CF003: 我和你想的**不太**一样, 我觉得职场环境比较重要。

(私は考え方がちょっと違う。職場環境のほうが大事だと思う。)

12月は疾病予防と治療月間

6.分析結果

表3：【直接的方略】及び配慮表現付随の【直接的方略】の使用回数

	【直接的方略】	配慮表現付随の【直接的方略】
日本語	72	35
中国語	67	13

③母比率の差の検定を行った結果有意水準%において、日本語と中国語とで配慮表現付随の【直接的方略】の使用率に差があり日本語における配慮表現付随の【直接的方略】の比率が有意に高いと結論づけられる

14

6.分析結果

⑤機能分類における日本語と中国語の共通点

機能分類1)：緩和表現

「不同意」における機能：「不同意」を示す際に自分の発言を和らげる

ポライトネスの原理：他者への非難を最小限にし自他の意見相違を最小限にせよ

機能分類2)：共感表現

「不同意」における機能：「不同意」を示す際に相手との共感を喚起する

ポライトネスの原理：自他の共感を最大限にせよ

15

6.分析結果

⑦機能分類における中国語の特徴

表5：中国語の配慮表現の使用回数と使用率

機能分類	言語表現	使用回数(使用率)
緩和表現	吧	3(18.75%)
	感觉	2(12.5%)
	挺(是)	2(12.5%)
	可能	2(12.5%)
	不太	1(6.25%)
共感表現	你知道	2(12.5%)
	对吧/对不对	2(12.5%)
	明白吗	1(6.25%)
	你想	1(6.25%)

中国語では共感表現と比べて緩和表現の使用が比較的に多くなっており自身の発言を和らげることによって配慮を示す傾向が見られるただし、個別の言語表現の使用について量的な差はあまりないと言える

また、日本語で見られた言いさし文およびではないかのような否定疑問文は中国語で使用されていないことが分かった

16

7.分析結果のまとめと考察

①明示性の度合いが一番高い【直接的方略】の使用において、日本語で配慮表現を付随することが比較的に多く、配慮表現の複数使用も見られており、全体的に配慮の指向性が高いと言える。

➡議論の場に対する捉え方として、日本語母語場面では人間関係維持をしながら議論を進める傾向にあるが中国語母語場面では主張の明確化に重点を置く

②個別の配慮表現について、日本語で見られる言いさし文及び否定疑問文としての「ではないか」は中国語で使用されていない

➡堀田・吉本(2013)、楊(2015)を裏付ける結果となり、日本語学習者にとって、母語による転移が日中接触場面変化する可能性があると考えられる。

20

6.分析結果

④日本語における「不同意」では配慮表現の単独使用以外に、複数使用も見られているが、中国語では配慮表現の複数使用が見られていない。

JFB025：(前略)自分の心がそれで晴れ晴れすれば、美容整形はいいんじゃないかな、と思う。

(配慮表現:ではない(か)、かなと思う))

15

6.分析結果

⑥機能分類における日本語の特徴

表4：日本語の配慮表現の使用回数と使用率

機能分類	言語表現	使用回数(使用率)
緩和表現	言いさし文	4(11.4%)
	～かな(と思う)	2(5.7%)
	～かもしれない	2(5.7%)
	～気がする	1(2.9%)
共感表現	～ではない(か)	20(57.2%)
	～だろう	4(11.4%)
	～よね	2(5.7%)

緩和表現と比べて共感表現の使用特に共感表現～ではない(か)の使用が圧倒的に多くなっている

「不同意」の【直接的方略】に配慮表現を付け加える場合、日本語母語話者は比較的に共感表現を好み、自他の共感を最大限にし、自身の発言で相手を取り込もうとする傾向が見て取れる。

17

6.分析結果

表6：日本語と中国語の配慮表現の使用回数の比較

	緩和表現	共感表現	合計
日本語	9	26	35
中国語	10	6	16
合計	19	32	51

⑧カイニ乗検定の結果：

日本語と中国語の間に水準で有意差が認められ $\chi^2(1)=4.880, p<0.05$

残差分析の結果：

日本語における共感表現の使用中国語における緩和表現の使用が有意に多い(表6&0.05)

19

7.分析結果のまとめと考察

③配慮表現の機能に関しては、中国語と日本語とは同様緩和表現と共感表現の使用が確認された。日本語における共感表現の使用中国語における緩和表現の使用が有意に多いという結果が得られた。

➡議論の場での「不同意」のコミュニケーションにおいて、配慮を示すメカニズムについて、中国語と日本語で一定の共通性が存在する。

一方、日本語母語場面では文末の共感表現を使用することで、同意を求めながら相手にターンを渡し、一方的な意見表明を避け、相手と共にコミュニケーションを進める傾向にある。それに対し、中国語母語場面では、主に自身の発言を和らげることより相手に配慮を示している。

21

12月は疾病予防と治療月間

8.残された課題

- (1)人間関係や場の状況による言語表現の使い分けを検討する。
- (2)談話展開の観点から「不同意」の特徴を捉える。
- (3)日本語教育現場における「不同意」の扱い方を提示する。

9.参考文献

宇佐美まゆみ監修(2021)『BTSJ 日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声)2021年版』、国立国語研究所、機関拠点型基礎研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」、サブプロジェクト「日本語学習者の日本語使用の解明」(リーダー:宇佐美まゆみ)

王昌(2018)『「不同意コミュニケーション」に関する考察-コミュニケーション生体の意識に着目して-』早稲田大学大学院修士論文(未公開)

王莉(2007)「不同意表明の仕方―日中の対照を中心に」『比較社会文化研究』22、13-22

木山幸子(2005)「『BTSJ』による多言語話し言葉コーパス：日本語会話(日本語母語話者同士の会話)を用いた研究：日本語の確立における不同意の相対性：会話教育への示唆(自然会話分析と会話教育：統一的モジュール作成への模索)」『言語情報学研究』6、165-182

張麗(2017)「中日両言語における廣語的間接発話行為の特徴に関する一考察：不同意発話行為を中心に」『第39回社会言語科学会研究大会年報』、82-85

堀田哲子・吉本啓(2013)「中国人日本語学習者の「不同意」行為：構成要素と発話の連鎖の考察」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』8、39-47

山岡政紀・牧野功・小野正樹(2018)『新版・日本語用論入門：コミュニケーション理論から見た日本語』明治書院

楊虹(2015)「話し合いにおける不同意表明発話のモダリティ」『鹿児島県立短期大学地域研究所研究年報』46、87-102

吉川香緒子(2007)「メールによる話し合いにおける「意見表明」の方法に関する考察」『早稲田大学日本語教育研究』Kansai Journal of Japanese applied linguistics10、71-82

Brown, P. & Levison, S. C. (1987). Politeness: Some universals in language usage, Cambridge University Press. (田中典子監訳(2011)『ポライトネス：言語使用におけるある普遍現象』研究社)

Leech, G. (1983) Principles of Pragmatics, Longman.(池上嘉彦・河上晋作訳(1987)『語用論』紀伊國屋書店)

出席報告 宮代 尚副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	マーク	出席率
50名	34名	15名	1名	8名	85. 71%

ニコニコボックス 小林聡司委員長

入金額 31,000 円 累計 648,000 円

誕生祝贈礼《会員》田上会員

王さん、卓話宜しく頼みますね!また職業奉仕セミナーお疲れ様でした。 石井会員

雨の中の酉の市何とか無事終了致しました。ありがとうございました。 青木(清)会員

王さん、卓話宜しく願います。コロナ対策手を抜かず御用心下さい!! 北村(英)会員

王さん、卓話楽しみにしています。サッカー大会お疲れさまでした。中学生への温かい気持ち、励ましの倉持会長あいさつでした。拍手 パチパチ! 石塚(克)会員

本日は、財団の染谷委員長に代わり財団寄付を集めさせて頂き、松坂さんから多額の寄付を頂きありがとうございました。今日が皆様にとりまして良い日になりますように!早退させて頂きます。 青木(正)会員

王さん、卓話楽しみにしています。 中嶋(利)会員

王さん、卓話よろしく願います。 中山・小林 各会員

例会欠席しました。 松崎・石塚(利)・宮代 各会員

先日の谷和原カップ、所用のため出席できませんでした。申し訳ありません。 廣井会員

会報委員会

河合恒芳委員長

中嶋利成副委員長